

2025年12月期 第3四半期 決算説明会資料

株式会社電通総研
2025年10月30日



01 2025年12月期 第3四半期決算概況

02 2025年12月期 業績予想

Appendix

* 2025年12月期より、報告セグメント配下の事業区分を変更しました。これに伴い、報告セグメントの2024年12月期実績についても、変更後の区分に組み替えた数値を記載しております。

| 01 2025年12月期 第3四半期決算概況

02 2025年12月期 業績予想

Appendix

業績サマリ

売上高・ 営業利益

ビジネスソリューションおよびコミュニケーションITを中心に**+7.9%の増収**。
研究開発費やM&Aに伴うのれん償却費等の増加を吸収し、**+12.5%の増益**。
第3四半期累計として過去最高

受注

受注高**+12.8%**、受注残高**+19.9%**。第3四半期(7-9月)の受注高は、金融ソリューションおよび製造ソリューションを中心に**+36.1%と大幅増**

対通期予想 進捗率

売上高**72.1% (▲1.4p)**、営業利益**70.8% (+2.1p)**、純利益**72.1% (+5.7p)**。
売上高の進捗はやや遅れ気味だが、利益面は前年より改善

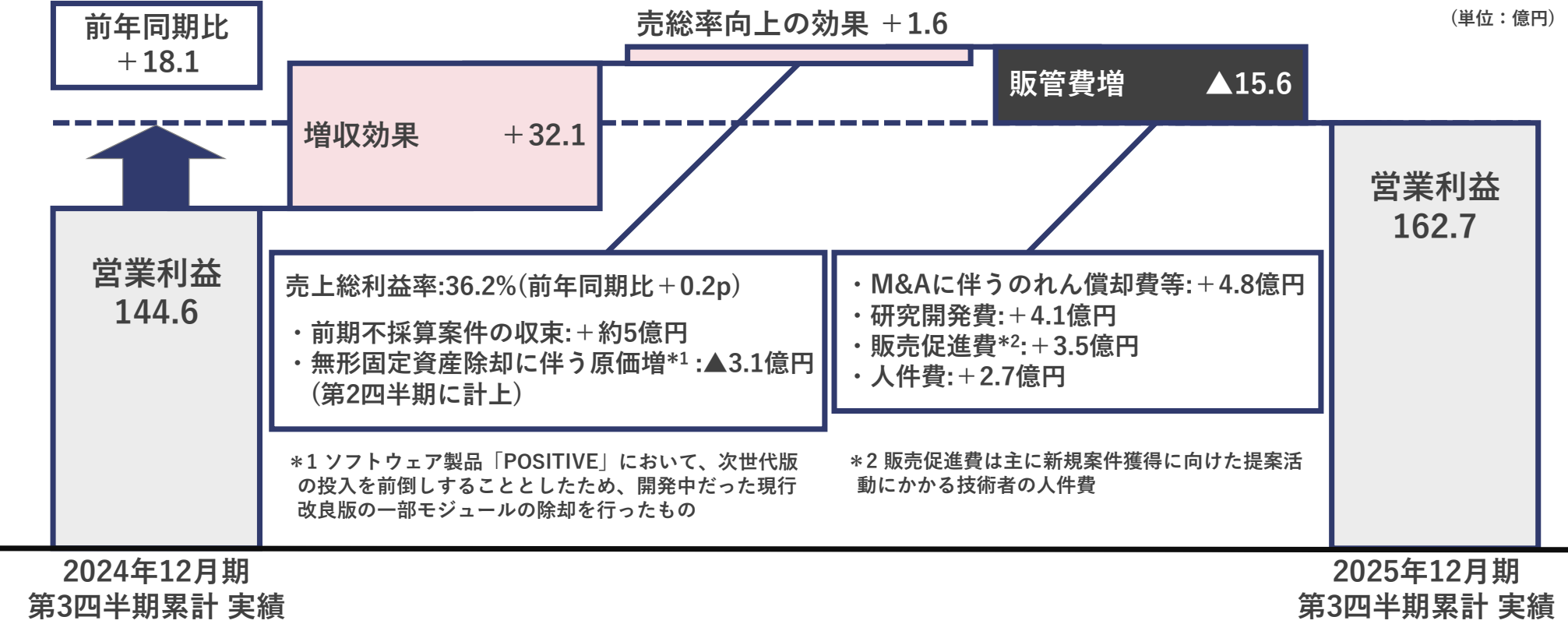
連結業績

(単位：百万円)

	2025年12月期 第3四半期累計	前年同期比			通期*に対する進捗率(%)	
		前年同期	増減	増減率(%)	2025年12月期 第3四半期累計	前年同期
売上高	121,151	112,231	+ 8,920	+ 7.9	72.1	73.5
売上総利益	43,801	40,424	+ 3,377	+ 8.4	—	—
売上総利益率(%)	36.2	36.0	+ 0.2p	—	—	—
販売費及び一般管理費	27,524	25,961	+ 1,563	+ 6.0	—	—
営業利益	16,277	14,463	+ 1,814	+ 12.5	70.8	68.7
営業利益率(%)	13.4	12.9	+ 0.5p	—	—	—
経常利益	16,892	14,413	+ 2,479	+ 17.2	71.9	68.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,716	10,074	+ 1,642	+ 16.3	72.3	66.6
就業人員数(四半期末)	4,604名	4,400名	+ 204名	+ 4.6	* 2025年度は2025/7/30発表予想に対する進捗率、前年度は最終実績に対する進捗率	

営業利益の増減要因【前年同期比】

- 販管費増があったものの増収効果を主因に、営業利益は増益
- 売総率は、無形固定資産除却に伴う原価増があったものの前期不採算の収束により改善



営業外損益・特別損益

- 営業外損益：金利上昇に伴う受取利息の増加等を中心に改善
- 特別損益：前年同期に投資有価証券売却益を特別利益に計上した影響等が剥落

(単位：百万円)

	2025年12月期 第3四半期累計	前年同期比		
		前年同期	増減	増減率(%)
営業利益	16,277	14,463	+ 1,814	+ 12.5
営業外収益	650	199	+ 451	+ 226.6
営業外費用	34	248	▲214	▲86.3
経常利益	16,892	14,413	+ 2,479	+ 17.2
特別利益	—	320	▲320	—
特別損失	—	25	▲25	—
税金等調整前四半期純利益	16,892	14,709	+ 2,183	+ 14.8
法人税等合計	5,176	4,634	+ 542	+ 11.7
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,716	10,074	+ 1,642	+ 16.3

報告セグメント別売上高および営業利益

(単位：百万円)

		2025年12月期 第3四半期累計	前年同期比		
			増減	増減率(%)	概況
金融ソリューション	売上高	25,240	▲352	▲1.4	受託システム開発案件や、「Stream-R* ¹ 」および「BANK・R* ² 」の販売・導入案件が拡大したものの、会計領域におけるソフトウェア商品アドオン開発案件が減少したことにより、減収減益
	営業利益	3,068	▲175	▲5.4	
	%	12.2	▲0.5p	—	
ビジネスソリューション	売上高	20,317	+2,947	+17.0	「STRAVIS* ³ 」の導入案件が商社向けを中心に拡大したことに加え、「POSITIVE* ⁴ 」の導入案件がサービス業や保険業向けに拡大したことにより、増収増益
	営業利益	4,871	+1,200	+32.7	
	%	24.0	+2.9p	—	
製造ソリューション	売上高	45,644	+1,066	+2.4	SAPソリューションの導入案件が減少したものの、CAEやPLMソリューションの販売が輸送機器業向けに拡大し、増収。利益は、収益性の高いソフトウェア商品アドオン開発案件が減少したことに加え、人員増に伴い人件費が増加したことにより、減益
	営業利益	5,771	▲167	▲2.8	
	%	12.6	▲0.7p	—	
コミュニケーションIT	売上高	29,949	+5,259	+21.3	公共向けおよび電通グループ向けビジネスが拡大したことに加え、前第3四半期連結会計期間から連結対象となった株式会社ミツエーリンクスの貢献があったことにより、増収増益
	営業利益	2,565	+956	+59.4	
	%	8.6	+2.1p	—	

*1 日銀決済管理システム、*2 次世代融資ソリューション、*3 連結会計ソリューション、*4 統合人事ソリューション

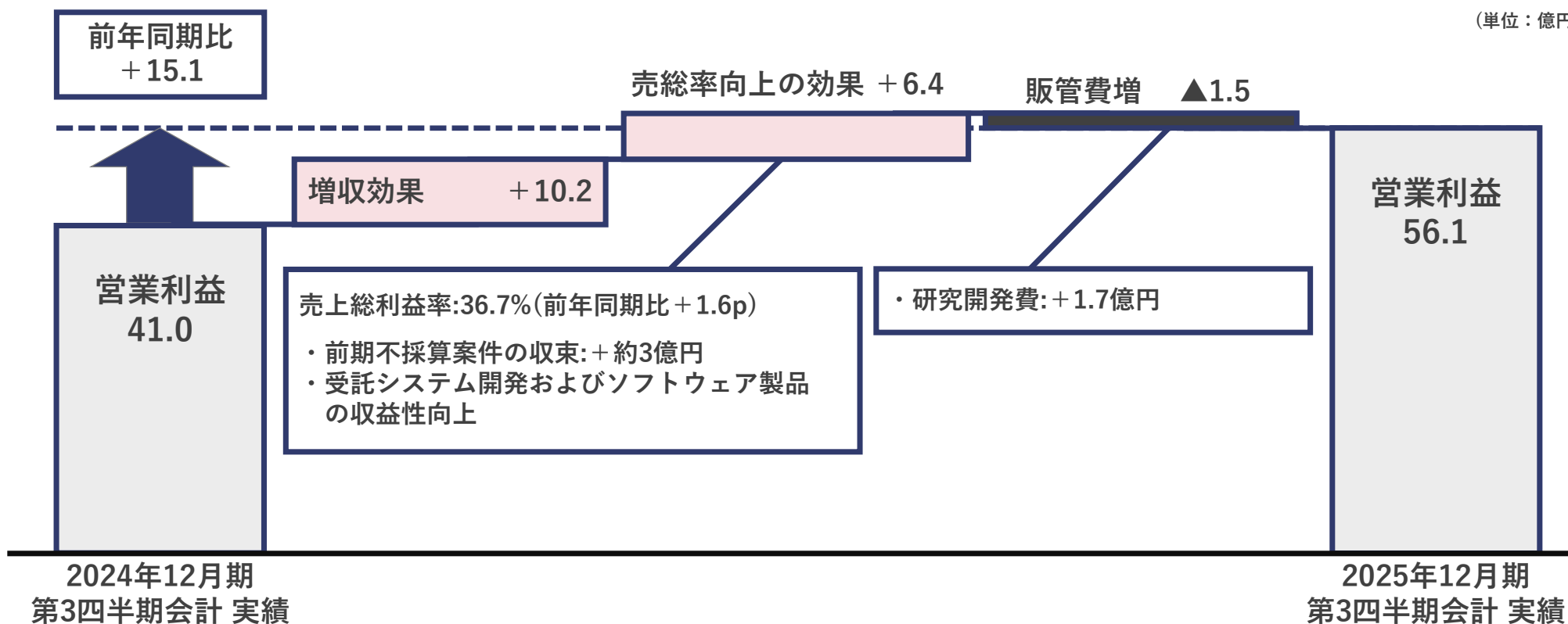
(参考)第3四半期会計期間(7-9月) 連結業績

(単位：百万円)

	2025年12月期 第3四半期 (7-9月)	前年同期比		
		前年同期	増減	増減率(%)
売上高	40,912	37,995	+ 2,917	+ 7.7
売上総利益	15,015	13,348	+ 1,667	+ 12.5
売上総利益率(%)	36.7	35.1	+ 1.6p	—
販売費及び一般管理費	9,400	9,245	+ 155	+ 1.7
営業利益	5,615	4,103	+ 1,512	+ 36.9
営業利益率(%)	13.7	10.8	+ 2.9p	—
経常利益	5,783	4,151	+ 1,632	+ 39.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,031	2,826	+ 1,205	+ 42.6

(参考)第3四半期会計期間(7-9月) 営業利益の増減要因【前年同期比】

- 増収効果および売総率向上効果により、営業利益は増益
- 売総率の向上は、前期不採算の収束に加え、受託システム開発およびソフトウェア製品の収益性向上によるもの



(参考)第3四半期会計期間(7-9月) 報告セグメント/サービス品目別業績

< 報告セグメント別 >

(単位：百万円)

		2025年12月期 第3四半期 (7-9月)	前年同期比	
			増減	増減率(%)
金融 ソリューション	売上高	8,884	+470	+5.6
	営業利益	1,163	+119	+11.4
	%	13.1	+0.7p	—
ビジネス ソリューション	売上高	7,211	+1,704	+30.9
	営業利益	1,940	+970	+100.0
	%	26.9	+9.3p	—
製造 ソリューション	売上高	14,642	▲612	▲4.0
	営業利益	1,649	▲131	▲7.4
	%	11.3	▲0.4p	—
コミュニ ケーションIT	売上高	10,173	+1,353	+15.3
	営業利益	861	+554	+180.5
	%	8.5	+5.0p	—

< サービス品目別 >

(単位：百万円)

	2025年12月期 第3四半期 (7-9月)	前年同期比	
		増減	増減率(%)
コンサルティングサービス	2,508	▲201	▲7.4
受託システム開発	8,912	+1,323	+17.4
ソフトウェア製品	8,403	+1,446	+20.8
ソフトウェア商品	13,570	▲109	▲0.8
アウトソーシング・ 運用保守サービス	5,282	+285	+5.7
情報機器販売・ その他	2,235	+174	+8.4

サービス品目別および電通グループ向け売上高

(単位：百万円)

サービス品目	2025年12月期 第3四半期累計	前年同期比	
		増減	増減率(%)
コンサルティングサービス	8,120	+ 648	+ 8.7
受託システム開発	25,381	+ 2,765	+ 12.2
ソフトウェア製品	24,482	+ 2,388	+ 10.8
ソフトウェア商品	40,425	▲141	▲0.3
アウトソーシング・運用保守サービス	15,479	+ 2,077	+ 15.5
情報機器販売・その他	7,263	+ 1,184	+ 19.5

相手先	2025年12月期 第3四半期累計	前年同期比	
		増減	増減率(%)
株式会社電通グループ及び そのグループ会社	16,205	+ 451	+ 2.9

業種別売上高

(単位：百万円)

業種		2025年12月期 第3四半期累計		前年同期比	
		売上高	構成比(%)	増減	増減率(%)
	銀行	18,107	14.9	+ 1,090	+ 6.4
	その他金融	7,031	5.8	+ 462	+ 7.0
	金融	25,138	20.7	+ 1,552	+ 6.6
	輸送機器	22,509	18.6	+ 2,481	+ 12.4
	電気・精密機器	12,325	10.2	▲55	▲0.4
	機械	7,823	6.5	▲552	▲6.6
	その他製造	8,135	6.7	+ 27	+ 0.3
	製造	50,793	42.0	+ 1,900	+ 3.9
サービス・公共		33,377	27.5	+ 3,020	+ 9.9
流通・その他		11,841	9.8	+ 2,447	+ 26.0

* 一部顧客の業種を見直したため、前年同期比較については組み替え後の数値を適用

受注高・受注残高

- 第3四半期(7-9月)の受注高は、金融ソリューションの銀行業向け受託システム開発、製造ソリューションのALM*領域を中心としたソフトウェア商品が拡大し、大幅増

(単位：百万円)

		受注高				受注残高	
		2025年12月期 第3四半期 (7-9月)	前年同期比 増減率(%)	2025年12月期 第3四半期累計 (1-9月)	前年同期比 増減率(%)	2025年12月期 第3四半期末	前年同期比 増減率(%)
合計		47,823	+ 36.1	137,870	+ 12.8	76,577	+ 19.9
報告セグメント別 内訳	金融ソリューション	9,368	+ 31.6	28,921	+ 12.5	12,298	+ 49.9
	ビジネスソリューション	6,170	+ 15.7	22,592	+ 27.8	9,453	+ 13.9
	製造ソリューション	24,768	+ 55.5	54,890	+ 10.5	37,880	+ 21.7
	コミュニケーションIT	7,516	+ 11.3	31,466	+ 8.1	16,945	+ 4.5
サービス品目別 内訳	コンサルティングサービス	2,262	▲26.6	8,010	▲6.5	2,131	▲13.4
	受託システム開発	9,276	+ 30.9	28,377	+ 21.9	8,682	+ 49.6
	ソフトウェア製品	7,006	+ 21.2	27,262	+ 24.9	11,950	+ 13.8
	ソフトウェア商品	23,050	+ 79.0	51,102	+ 8.7	40,819	+ 21.7
	アウトソーシング・運用保守	4,248	▲12.8	16,603	+ 6.1	7,617	+ 20.2
	情報機器販売・その他	1,979	+ 37.8	6,514	+ 11.7	5,377	+ 3.3

01 2025年12月期 第3四半期決算概況

| 02 2025年12月期 業績予想

Appendix

2025年12月期 通期業績予想

- 2025年7月30日に発表した予想より変更はありません。

(単位：百万円)

	2025年12月期 (2025/7/30発表)	前期比		
		前期	増減	増減率(%)
売上高	168,000	152,642	+ 15,358	+ 10.1
売上総利益	61,200	56,123	+ 5,077	+ 9.0
売上総利益率(%)	36.4	36.8	▲0.4p	—
販売費及び一般管理費	38,200	35,083	+ 3,117	+ 8.9
営業利益	23,000	21,039	+ 1,961	+ 9.3
営業利益率(%)	13.7	13.8	▲0.1p	—
経常利益	23,500	21,093	+ 2,407	+ 11.4
親会社株主に帰属する当期純利益	16,200	15,117	+ 1,083	+ 7.2
就業人員数(期末)	4,700名	4,413名	+ 287名	+ 6.5

2025年12月期 報告セグメント別/サービス品目別売上高予想

- 2025年7月30日に発表した予想より変更はありません。

<報告セグメント別>

(単位：百万円)

報告セグメント	2025年12月期 (2025/7/30発表)	前期比	
		増減	増減率(%)
金融ソリューション	36,000	+1,950	+5.7
ビジネスソリューション	27,000	+3,374	+14.3
製造ソリューション	65,000	+4,436	+7.3
コミュニケーションIT	40,000	+5,599	+16.3

<サービス品目別>

(単位：百万円)

サービス品目	2025年12月期 (2025/7/30発表)	前期比	
		増減	増減率(%)
コンサルティングサービス	12,000	+1,520	+14.5
受託システム開発	34,000	+2,987	+9.6
ソフトウェア製品	34,000	+3,905	+13.0
ソフトウェア商品	58,000	+3,628	+6.7
アウトソーシング・運用保守サービス	21,000	+2,502	+13.5
情報機器販売・その他	9,000	+818	+10.0

(参考)第4四半期（10-12月）業績予想

- 通期予想から第3四半期累計実績を差し引いた第4四半期会計期間の数値は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	第4四半期 予想	前年同期比		
		前期	増減	増減率(%)
売上高	46,848	40,411	+ 6,437	+ 15.9
売上総利益	17,398	15,698	+ 1,700	+ 10.8
売上総利益率(%)	37.1	38.8	▲1.7p	—
販売費及び一般管理費	10,675	9,122	+ 1,553	+ 17.0
営業利益	6,722	6,576	+ 146	+ 2.2
営業利益率(%)	14.3	16.3	▲2.0p	—
経常利益	6,607	6,679	▲72	▲1.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,483	5,042	▲559	▲11.1

(参考) 第4四半期 (10-12月) 報告セグメント/サービス品目別売上高予想

<報告セグメント別>

(単位：百万円)

報告セグメント	第4四半期 予想	前年同期比	
		増減	増減率(%)
金融ソリューション	10,759	+ 2,301	+ 27.2
ビジネスソリューション	6,682	+ 427	+ 6.8
製造ソリューション	19,355	+ 3,370	+ 21.1
コミュニケーションIT	10,050	+ 339	+ 3.5

<サービス品目別>

(単位：百万円)

サービス品目	第4四半期 予想	前年同期比	
		増減	増減率(%)
コンサルティング サービス	3,879	+ 872	+ 29.0
受託システム開発	8,618	+ 221	+ 2.6
ソフトウェア製品	9,517	+ 1,517	+ 19.0
ソフトウェア商品	17,574	+ 3,768	+ 27.3
アウトソーシング・ 運用保守サービス	5,520	+ 424	+ 8.3
情報機器販売・ その他	1,736	▲ 367	▲ 17.5

01 2025年12月期 第3四半期決算概況

02 2025年12月期 業績予想

| Appendix

主要プレスリリース(2025年8月-2025年10月)

2025/10/30	「dentsu Japan×東北大学 ダイバーシティワークモデル共創研究所」を設置
2025/10/15	「クオリティ・オブ・ソサエティ指標2025」の調査結果を発表
2025/10/09	生成AIでシステム開発の上流工程を半自動化するAIエージェントを開発し、本格運用を開始
2025/10/08	世界約150カ国10,000社超の企業調査を行うGPTWの「働きがいのある会社」に4年連続で選出
2025/09/26	ServiceNow Japan（サービスナウ ジャパン）とパートナーシップ契約を締結
2025/09/18	未来に向けた事業創造を支援するツール「電通 未来ファインダー100 [®] （2025年版）」を提供開始
2025/09/11	国内電通グループ3社、「AI For Growth マーケティングエージェント開発・導入・伴走支援サービス」を提供開始
2025/09/10	国内電通グループ3社と京都大学、ヘルスケア領域の産学連携プロジェクト「evidact(エビダクト)」を始動
2025/09/04	テックタッチと信越化学工業の人事システムにAI型DAP「テックタッチ」を導入
2025/09/01	電通と、クリエイティビティを生かしてものづくりの現場に活気を生み出す変革支援サービス「ゲンバニ」を提供開始
2025/08/28	「Salesforce Experience Cloud」「Service Cloud」でしんきん保証基金のローン申込受付システムを構築
2025/08/07	経費精算システム「CiX Expense（サイクロス エクス Pens）」をはじめとする「CiX」シリーズをコマツが採用
2025/08/05	電通と「新たな事業創出とR&Dの関係性に関する調査」を実施



本資料に関するお問合せ

株式会社電通総研
エグゼクティブオフィス
IR担当



<https://www.dentsusoken.com/ir>



g-ir@group.dentsusoken.com



03-6713-6160
